



佐呂間町サポート文藝部

一本の細く弱い糸でも、何十本、何百本と「紡ぐ」ことで糸は強くなります。

糸はやがて多くの人々の想いと想像と努力から素敵な衣類や製品へと変わり、時代とともに進化発展をし、人々の心を潤し、夢や希望を与えてくれます。

作品では、佐呂間を故郷に持つ人々や縁を持つ人々の想いを左側の梟で表し、その佐呂間へココロを寄せる人々を迎え入れる佐呂間町の人々を右側の梟で表したものです。

一度は枯れ始めた樹（町）も、それぞれに佐呂間を想う人々（左側の梟）の縁を「紡ぐ」ことで縁は絆に変わり、潤い（右側の梟）をもたらせます。

潤いを得た樹（町）は生命力（枝葉）を上げ、沢山の希望の実（すずめ）を付け、明日の佐呂間のため、佐呂間を愛する人々のために種（想い）を落とします。

佐呂間町に想いを寄せる全ての人々の「紡ぐ」によって、佐呂間町及び縁をもった人々全ての未来永劫の発展を願い、今ここから始まる「佐呂間物語」を築きあげていきたいと考え描いた作品です。

2015.5.18

現代墨絵作家 安保 真